

## UNNキャンパス原稿書式

起業の思いを貫くことについて

NPO法人うつくしまNPOネットワーク

参与 久我 和也

▼2008年1月に独立し、2010年5月に株式会社えこでんを設立しました。独立・起業のきっかけは、務めていた会社が、「電力監視による空調コントロール」事業から撤退したからです。やりがいを感じていましたので独立し同事業にチャレンジしたい思いが日に日に湧き上がりました。協力会社の個人代理店としてまず、独立しました。社名「えこでん」には、エコロジー・エネルギー・エコノミー・エシックスの4つの「e」を行動指針とし、主に電気の分野で4つ「e」を伝えていくという意味を込めました。

▼顧客ゼロからのスタートでした。知人の事務所で机を一つお借りし、格安のノートパソコンが「相棒」でした。会社勤務時代とは別な、緊張する毎日でした。一国一城の主です。個人代理店の2年間で、「えこでん」としてのノウハウを蓄積し、顧客ニーズにもっともっと即したいと考え、株式会社にしました。個人商店主から「代表取締役社長」になりました。様々な商材や省エネルギーの手法を研究し、少しずつ増えてきたお客様に、企画提案書をお届けする毎日でした。

▼独立・起業と聞こえは良いですが、顧客ゼロからのスタートという現実は厳しく、毎日が新規開拓です。止まれば会社も自分の生活も無くなる訳ですのでとにかく我武者羅でした。会社設立後の2011年3月には、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故が起き、株式会社えこでんの経営にも大きな影響がありました。しかし、この大きな逆風が、「再生可能エネルギー」の時代の到来を告げることになりましたが、「省エネ」はまだまだ光が当たらない状態が続きました。

▼会社経営で大切にしていることは、お客様の「声」をよく聞くということです。聞くだけではなくよく傾聴し、「言葉」として出てこない「悩み」や「求めていること」に思いを馳せることです。そして、お客様の「声」を「言葉」として確認することです。すると、本当に必要な商材や手法が見えてきます。次に、企画提案書を提示し、細部まで一緒に擦り合わせしていきます。小手先の技術できなく、お客様の心に響く技術です。

▼「カーボンニュートラル」「脱炭素」のワードが一般的になり、再生可能エネルギーをはじめとする代替エネルギーのニュースが多く取り上げられる様になりました。しかし、創業時に感じた「使う量を減らさねければ、どんなエネルギーを使おうが結局足りなくなる。」という思いは変わりません。大きく変化する世の中ですが、「省エネ」を「4つのe」を柱に新しい技術を取り入れ「地球と社会にやさしい」経営をしていこうと思います。(2024年1月11日記)